

ご使用の前に、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要なときに読めるように大切に保管してください。

発熱や
のどの痛みに

解熱鎮痛剤

イブプロフェン配合

新オムニンP錠

新オムニンP錠は頭痛・歯痛・生理痛などの痛みや悪寒・発熱時の解熱にすぐれた効果をあらわします。

！ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

- 次の人は服用しないでください。
 - 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
 - 15歳未満の小児
 - 出産予定日12週以内の妊婦
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
(眠気等があらわれることがあります。)
- 服用前後は飲酒しないでください。
- 長期連用しないでください。



相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 授乳中の人
 - 高齢者
 - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の診断を受けた人：心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
 - 次の病気にかかったことのある人：胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
循 環 器	動悸
呼 吸 器	息切れ
そ の 他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中の痛み、過度の体温低下、からだがだるい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(ステイブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。)
心筋梗塞	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷や汗が出る
脳血管障害	意識の低下・消失、片側の手足が動かさにくくなる、頭痛、嘔吐、めまい、しゃべりにくくなる、言葉が出にくくなる等が急にあらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくたとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

裏面もお読みください。

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
便秘、眠気
- 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

〔成分及び分量〕

6錠(成人1日最大服用量)中

成 分	分 量	主 な 作 用
イブプロフェン	450.0mg	熱や痛みの元(プロスタグランジン)を抑えます。
アリルイソプロピルアセチル尿素	180.0mg	鎮痛効果を高めます。
無水カフェイン	240.0mg	

添加物として、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースCa、乳糖、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール、カルナウバロウを含有しています。

〔効能又は効果〕

- 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛(のどの痛み)・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざにともなう痛み(ねんざ痛)・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 悪寒(発熱によるさむけ)・発熱時の解熱

〔用法及び用量〕

下記の量になるべく空腹時をさせて水又はお湯で服用してください。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	2錠	3回まで (服用間隔:4時間) (以上おくこと)
15歳未満	服用しないこと	

- 定められた用法・用量を厳守してください。
- 錠剤の取り出し方: 右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。
(誤ってそのまま飲み込むと食道粘膜に突き刺さるなど思わぬ事故につながる場合があります。)



保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。)
- 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本品に関するお問い合わせ

オール薬品工業株式会社 くすり相談室
〒661-0953 兵庫県尼崎市東園田町2丁目106番地
TEL (06) 6491-6222
電話受付時間: 月～金(祝日を除く)
9:00～17:00

製造販売元  **オール薬品工業株式会社**
兵庫県尼崎市東園田町2丁目106番地